

「【500人に聞く】 第19回

“サラリーマンのお昼ごはん事情”に関する調査」ダイジェスト

“弁当・パン派”が絶対多数、ワンコインまでのリミットもあり
月刊『アイ・エム・プレス』 Vol.161(10月号)誌上で公開!

株式会社アイ・エム・プレスは、月刊『アイ・エム・プレス』に連載中の「500人に聞く」シリーズ(調査主体:(株)アイ・エム・プレス 調査協力:(株)マーシュ)の第19回として今どきの新聞事情について調査を行いました。本リリースでは、同調査結果のダイジェストをお送りします。

なお本調査は、2009年9月25日に弊社が発行いたしました、月刊『アイ・エム・プレス』Vol.161(10月号)に結果全文を掲載しております。月刊『アイ・エム・プレス』Vol.161の詳細は、<http://www.im-press.jp/magazine/> から。



< 調査の概要 >

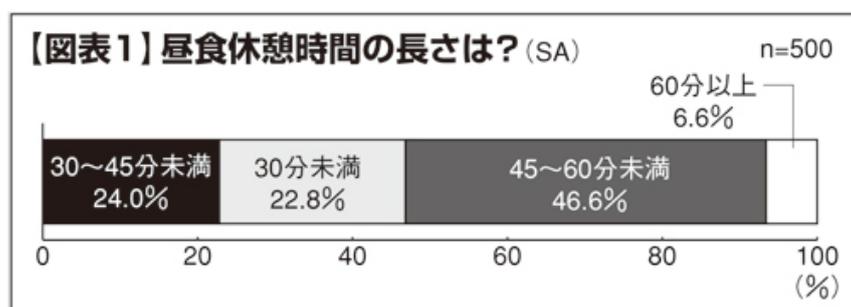
調査期間: 2009年8月19日(水)~21日(金) 調査方法: インターネットリサーチ((株)マーシュ調べ)
調査対象: 全国における20~59歳の男女 サンプル数: 500

< 調査結果紹介 >

昨今の不景気のせいばかりではあるまいが、最近、お昼ごはんに弁当を食べているサラリーマン(給与所得者)が増えたように感じる。また昼食時間帯に、サラリーマンが低価格な飲食店の前に列をなす光景は、日本の“面白画像”として海外の番組で取り上げられることも多いようだ。そこで今回は、今や日本の世相を映す鏡と呼んでも過言ではない、サラリーマンのお昼ごはん事情について調査を行った。

なお、本調査に先立ち「お昼ごはんを食べますか?」という予備調査を行ったところ、「食べない」と回答したのは0.9%にすぎなかった。午後の仕事に向け、圧倒的多数のサラリーマンがお昼ごはんはきちんと食べている。

お昼ごはんは“ワンコイン”以内が全体の7割も



実際に取っている昼食休憩時間の長さを尋ねた結果が図表1である。トップは「45~60分未満」の46.6%であったが、まあ妥当なところかと思われる。「30~45分未満」が24.0%で続き、この2つを合計すると7割を超えた。しかし、労基法の定めによれば1日の労働時間が6時間を超える場合は45分以上、8時間を超える場合は1時間以上

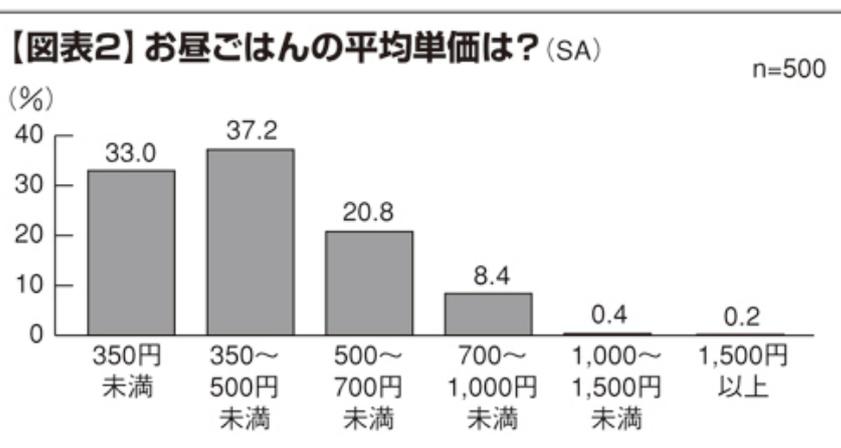
の休憩時間を与えなければならないとされているので、「30分未満」(22.8%)は“問題アリ”かもしれ

ない。ちなみに、「30分未満」と回答したサラリーマンを性・年代別で見ると、40代男性の37.1%、30代男性の36.5%が他を大きく引き離している。医学的には、食べた後に少しのんびりすることが望ましいらしいのだが、忙し過ぎておちおち休んでもいられないということだろうか。

さまざまな分野で価格破壊が進む現代日本。サラリーマンがお昼ごはんに掛ける金額を尋ねた結果が図表2である。トップは「350～500円未満」の37.2%だが、次に多かったのは「350円未満」（33.0%）であった。このことから、お昼ごはんを“ワンコイン”以内で納めるサラリーマンが7割以上を占めている、という現実が明白になった。

20代男性の約1/4に広がる手作り弁当持参組

お昼ごはんの時、誰と何を食べているのかを尋ねたのが図表3である。小差ながらトップとなったのは「同僚・仲間と弁当・パンなどを」の33.0%で、「ひとりで弁当・パンなどを」が30.6%で続き、“弁当・パン派”は63.3%も存在するマジョリティーであった。前問の結果からある程度は予想されたことだが、ワンコイン以内での選択肢となると、弁当やパンという回答が多くなるのは当然といえば当然の結果といえよう。これに「社員食堂で」の18.0%を加えた、



えた、外食しないサラリーマンは8割を超え、外食派は2割を切るのが実情だ。・・・(以下続く)

同調査のさらなる情報は以下のサイトへ！

500人に聞く・第1回～第18回バックナンバーも満載！

「アイ・エム・プレス」Webサイトはこちら！

<http://www.im-press.jp/index.html>

インターネットが企業と生活者、そして企業と企業をつなぐ時代。従来からの競合の概念は大きく変化し、顧客主導型経営の重要性が叫ばれています。月刊『アイ・エム・プレス』では、このような“変革の時代”に勝ち残るための顧客づくりのヒントを、年間定期購読システムによりお届けしております。

< 株式会社アイ・エム・プレス >

代表取締役社長： 西村道子 / 設立： 1989年10月19日

業務内容： 出版、セミナー企画、調査、編集

〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-6 聖台ビル5F

TEL：03-3815-8991 / FAX：03-3815-8957

URL：http://www.im-press.jp/

< 本リリースに関する問い合わせ先 >

(株)アイ・エム・プレス 編集部 / 販売促進 までお気軽にお問い合わせください。

TEL / FAX / URL： 同上